

平成27年度 キャリア教育推進計画

○高等部 進路決定に向けた現実的探索と社会的移行準備の時期

- (A 生活習慣 B コミュニケーション C 自己理解 D 職業観 E 将来設計 F 生き方)
- A 社会的生活習慣の確立 B コミュニケーション能力の発展
- C 自己理解の深化および自己受容の確立 D 職業観や勤労観の確立
- E 将来設計の立案および社会的移行への準備 F 進路の現実的探索と社会への試行的参加

目標	身につけさせたい能力・態度
A	①身のまわりのことを自分で行う ②卒業後に必要な生活スキルや知識を身につける ③時間や期限を守る ④服薬、医療的ケア、通院等の自己管理が適切にできる ⑤集団生活のルールを守り、自分の役割を果たす ⑥社会規範やマナーに加え、ビジネスマナーの必要性や意義を理解し、習得する ⑦自分の就労に必要なスキルや資格等を調べ、習得する ⑧環境の変化（四季、気温、湿度、音、光、場所等）に影響されず活動ができる ⑨集団の中で外部刺激（音、声、温度、光等）の弁別ができる ⑩適切な方法で安全に摂食できる ⑪ひとりでも楽しめる活動を増やし、ひとりの時間を楽しく過ごせる ⑫活動に応じた体の使い方や楽な姿勢、リラクゼーションのしかたを理解し、実践できる ⑬心と体のセルフコントロールができる
B	①快、不快を表現できる ②あいさつ、返事、同意不同意の意思表示を明確にできる ③新しい環境や人間関係に適応し、さまざまな場面でそれを生かす ④場に応じた適切な言葉遣いができる ⑤異年齢、異性等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る ⑥自分の意見や思いを適切に伝え、他者の意見や意思を的確に理解する ⑦自分に適したAAC（拡大・代替コミュニケーション）を活用し、場に応じて使い分けができる ⑧他者からの意見や意思を的確に把握するために、自分に合った方法を見つけ、有効に活用できる ⑨必要に応じて、身近な人だけではなく、関わりの少ない人にも介助の依頼ができる ⑩身近な人だけではなく、関わりの少ない人からの介助も受け入れる ⑪身近な人だけではなく、関わりの少ない人からの呼びかけ等のはたらきかけにも反応する
C	①お互いを理解し、支えあえる友達を得る ②他者の価値観や個性を理解し、それを受け入れる ③自分の障がいや病気について知り、その特性を理解し、それを受け入れる ④自分の職業的な能力や適性を理解し、それを受け入れ伸ばそうとする
D	①多様な職業観や勤労観を理解し、職業や勤労に対する理解、認識を深める ②現場実習等の体験的な活動を通して、進路選択の基準となる自分なりの価値観や職業観、勤労観をもつ
E	①卒業後の進路や職業、産業の動向について多角的に情報収集をする ②現場実習等の体験的な活動を通して、生きがいややりがいがあり、自分を生かせる生き方や進路を現実的に考える ③生き方や職業について総合的、現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する ④将来設計、進路計画の実現を目指して、課題を設定し、その解決に主体的に取り組む ⑤将来設計、進路計画の見直しや再検討を行い、その実現に主体的に取り組む ⑥就業生活における権利や義務、責任および就職に必要な手続き等が分かる ⑦卒業後の日常生活（ひとり暮らし、金銭管理、自動車免許等）に必要な手続き等が分かる ⑧年金や手当等の制度の概要が分かる ⑨高等部卒業後の自分のあるべき姿をイメージし、それに向けて課題に取り組むことができる
F	①学習や日常生活場面で、自己決定（YES／NO、好き／嫌い、したい／したくない等）ができる ②現場実習等の体験的を通して、施設での探索的、試行的な体験に取り組む ③進路希望や将来の生き方の実現に必要な諸条件や課題を理解し、実現の可能性について考える ④現場実習や職場見学、上級学校の見学やオープンスクールへの参加、アルバイト等で、社会参加に向けた探索的、試行的な体験に取り組む ⑤多様な選択肢の中から、自分の意思と責任で進路や学習を主体的に決定する ⑥自分の選択結果を受け入れ、決定に伴う責任を果たす ⑦地域の人たちとのかかわりを深め、よりよい関係を築く ⑧仕事と余暇の切り替えができる ⑨趣味を持ち、余暇を楽しむことができる